

NO 3	大阪新美術館プロジェクト	大阪市 関西電力株式会社 株式会社関電エネルギーソリューション	
------	--------------	---------------------------------------	--

提案概要 エリア全体でエネルギーマネジメントに取り組む地区に立地する美術館の新築プロジェクト。展示・収蔵に多くのエネルギー消費を伴う空調等の省エネルギー対策のほか、エリア全体での熱融通計画等に基づき、河川水利用の地域冷暖房と多様な熱源の組合せによって、省CO2と防災力向上の両立を図る。

事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅・一般部門)
	建物名称	(仮称)大阪新美術館	所在地	大阪府大阪市北区
	用途	その他(美術館、店舗、駐車場)	延床面積	20,012 m ²
	設計者	株式会社遠藤克彦建築研究所	施工者	未定
	事業期間	平成30年度～平成33年度		

概評 多くの一般市民が利用する美術館において、人認識画像センサーによる外気導入量制御をはじめ、施設特性に応じた先導的な省CO2技術が採用され、波及・普及効果が期待できると評価した。また、市とエネルギー事業者等が連携したエリア全体のエネルギーマネジメント構想の一環として提案されており、将来の周辺施設への着実な展開を期待する。

参考図

The diagrams illustrate the project's energy and environmental strategy. The site map shows the building's location in the 'Area of Regional Heating/Cooling Supply' (現状の地域冷暖房供給エリア) near the Arakawa River. The cross-section diagram details the building's energy management, including solar power generation (太陽光発電), natural light (トップライトによる自然採光), energy exchange with the ground (エネルギーウォール), and various ventilation and cooling systems like duct fans (ダクトファンによる暖気下ろし) and floor air conditioning (床吹出による居住域空調). It also shows the use of rainwater for irrigation (雨水を利用した散水) and the integration with the regional heating/cooling system (地域冷暖房新設配管).